

## あいさつ

沖縄県立名護特別支援学校ホームページへようこそ。

私は、校長の岡越 猛（おかごし たけし）と申します。どうぞ、よろしくお願い致します。

本校は、沖縄県の山原（やんばる）名護市にあり、海と森に囲まれた自然豊かな環境にあります。近くには美ら海水族館、2月にプロ野球球団の日本ハムファイターズがキャンプをする球場もあります。

本校の校門までのアプローチ右手には、花壇が設置され四季折々の草花で幼児児童生徒の登下校を見守り、左手には、ビロウやリュウキュウコクタン（黒木）と樹木が夏の暑さを和らげてくれています。校門を入ると正面には、大きな石碑が迎えてくれます。石碑には、創立（昭和51年）当時の合い言葉「なかよく げんきに ほがらかに」があり、幼児児童生徒に向き合う根本として保護者、教職員によって受け継がれてきました。

「なかよく」はより良く人との関係が築けること。「げんきに」は心身ともに健康な身体をつくること。「ほがらかに」は、常に気持ちを穏やかに情緒の安定が保てること。との教育理念に即した指導に取り組んでいるところです。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続するなかでのスタートとなりました。幼稚部5名、小学部51名、中学部37名、高等部81名、計174名と過去最高の在籍数となり、安全安心な教育指導の在り方についてなお一層、教職員一同努力して参ります。

令和4年度、本校は県教育委員会教育課程研究校として指定されております。指定研究では、文部科学省が示す「令和の日本型学校教育」、平成29年度に告示された特別支援学校学習指導要領の全面実施による新たな教育課程と授業改善が求められており、従来の生活中心（日常生活の指導・作業学習等）の指導形態から、教科等（道徳・特活含む）中心の教育指導の在り方について取組、幼児児童生徒が社会生活や家庭生活または、職業生活において必要な知識・技能等の履修及び修得を目指す研究を進めてまいります。

本校の新たな教育活動では教科等を中心に「多様で豊かな学び」による、協調性や人間関係の調整能力など「人と関わる力」、自己肯定感や自立心など「自分に関する力」などの育成を目指しています。家庭での基本的な生活習慣や保護者等からの働きかけ等が重要であり、学校と家庭が同じ方向を向いて、連携協力することで相乗効果が得られると考えます。保護者等におかれましては、本校の新たな教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

令和4年4月吉日  
名護特別支援学校  
校長 岡越 猛